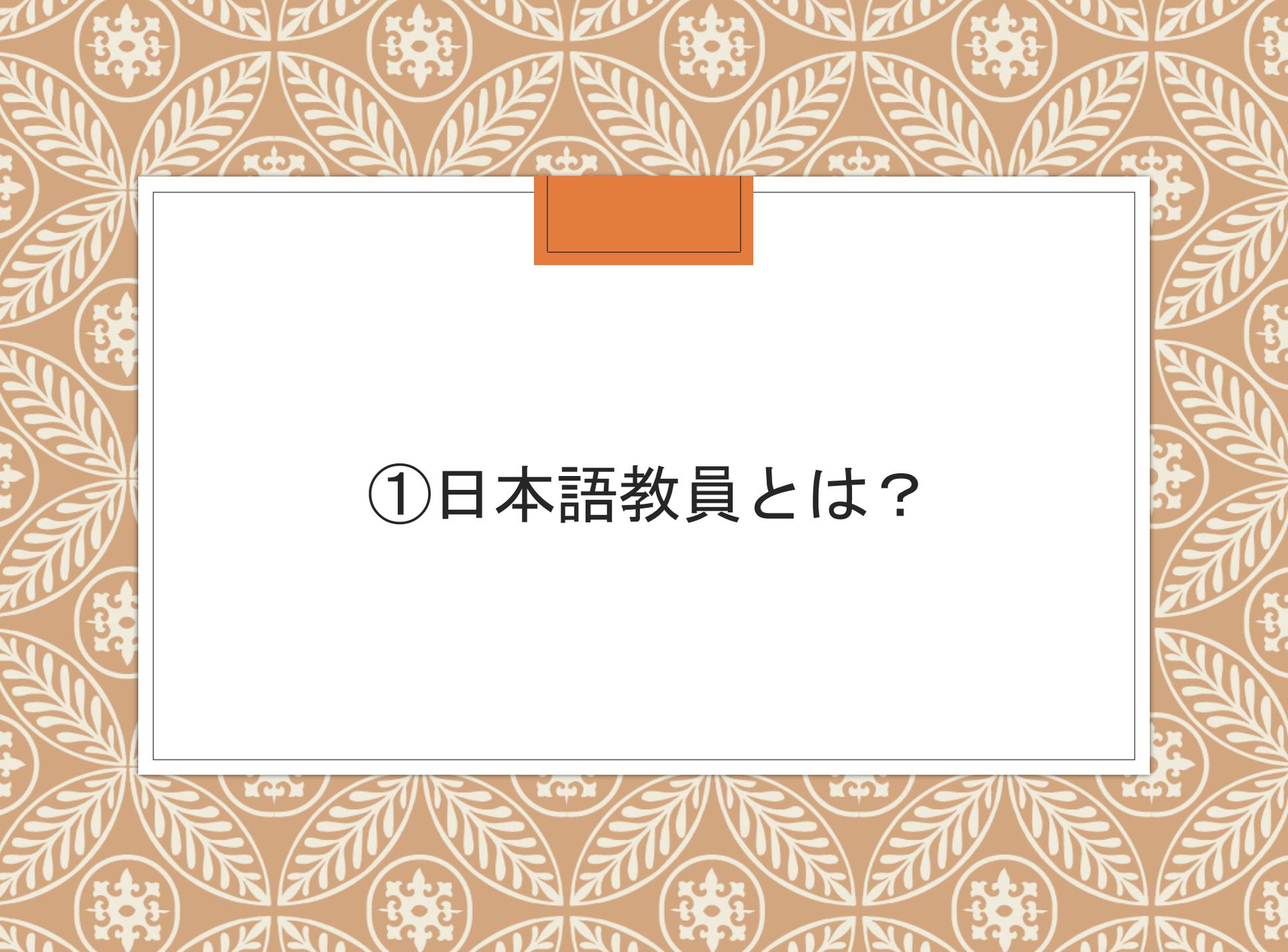


【文学部】  
日本語教員養成プログラム  
について



# 【本日の内容】

- ① 日本語教員とは？
- ② 本プログラムのカリキュラム
- ③ 日本語教育実習について



# ①日本語教員とは？

# 日本語教員とは？

日本語教員とは、日本語を母語としない人々に、  
『外国語としての日本語』を教える教員のことです。

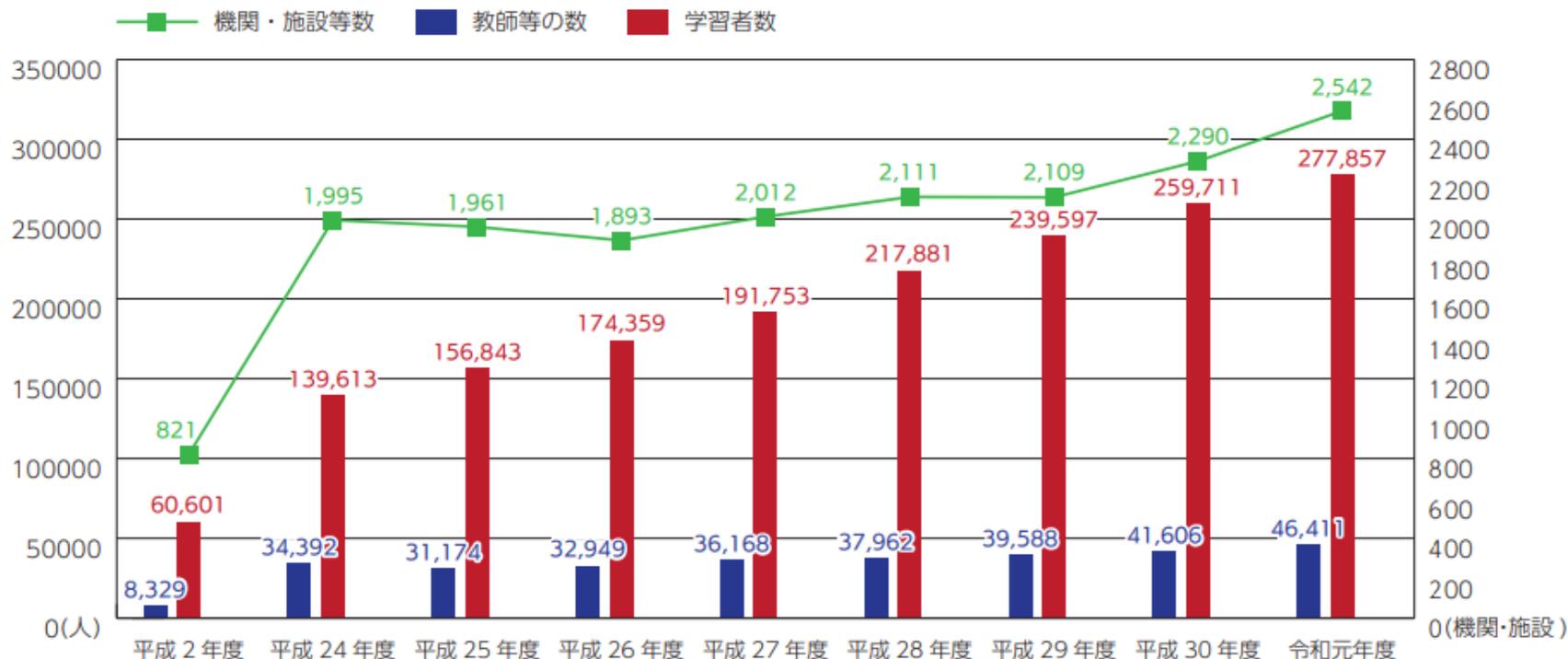
現在、国内には約46,000人の日本語教師が在籍し、  
約278,000人が日本語を学んでいます。

(文化庁 令和元年度 国内の日本語教育の概要より)

## 日本語教育実施機関・施設等数,日本語教師等の数,日本語学習者数の推移

前年度との比較では,日本語教育実施機関・施設等数,日本語教師等の数,日本語学習者数すべて増加している。

平成2年度からの推移を見ると,日本語教育実施機関・施設等数は821から2,542(3.1倍)に,日本語教師等の数は,8,329人から46,411人(5.6倍)に,日本語学習者数は60,601人から277,857人(4.6倍)にそれぞれ増加している。



令和元年度に文化庁より公表された,日本語教育実施機関・施設,日本語教員,日本語学習者数の推移です。いずれも,年々増加していることがわかります。

(文化庁 令和元年度 国内の日本語教育の概要より)

# 国内で働く日本語教員になるためには？

## 【国内の日本語学校で就職するための条件（学部生版）】

以下のいずれかの条件を満たしていることが必要となります。

- （１）大学において日本語教育に関する教育課程を修了し、  
所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業した者。
- （２）大学において日本語教育に関する科目の単位を２６単位以上修得し、  
かつ、当該大学を卒業した者。
- （３）日本語教育能力検定試験に合格している者。
- （４）学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって  
適当と認められるものを４２０単位時間以上受講し、これを修了した者。
- （５）上記と同等以上の能力があると認められる者。

明治大学文学部生の皆さんは、

日本語教員養成プログラムを修了し、

本学を卒業することで、

(2) の要件を満たすことができます。

(2) 大学において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業した者。

# 海外で働く日本語教員になるためには？

世界には約400万人の日本語学習者が存在しており、様々な国に『日本語』や『日本文化』を学びたい学習者がいます。

特に海外では教材やカリキュラムの不足、現地教師の支援体制など、様々な問題や課題を抱えており、日本語教員の需要が高まっています。

そのため、日本語教員の活躍の場は海外がメインとなります。

海外で日本語教員として働く場合、以下の例が挙げられます。

【具体的な派遣例】

- 独立行政法人 国際交流基金の海外派遣
- JICA青年海外協力隊員（日本語教育専門）
- 現地教育機関での直接雇用

※詳細や条件は国際交流基金やJICAのHPをご確認ください。

日本語教員として働くだけでなく、  
海外駐在となった場合、ボランティアやパートタイム等で  
身に着けたスキルを活かすことも可能です。

# 日本語教員養成プログラムのメリット

日本に在住する外国人との  
交流に役立つ

中高の教員を目指すうえで  
+αの勉強ができる

海外での活躍の可能性が広がる

学外の日本語教育機関で  
実習ができる

全ての科目を  
卒業要件単位として  
参入できる



② 『日本語教員養成プログラム』  
のカリキュラム

# カリキュラム（2017年度以降入学者）

社会・文化・地域

言語と社会

言語一般

言語と教育

言語と心理

2017年度以降の入学者は、スライドに記載のそれぞれの区分から、必要な科目を履修し単位を修得する必要があります。

※2016年度以前入学者はカリキュラムが異なります。

# 社会・文化・地域（8単位以上）

1年次	2年次	3年次	4年次
日本文学史A (2) 【2019年度以前入学者】	サブカルチャー研究 (2)	異文化理解 I (2)	
日本文学史B (2) 【2019年度以前入学者】	現代文化論 (2)	異文化理解 II (2)	
日本文学史C (2) 【2019年度以前入学者】	コミュニティデザイン論 (2)	外国文芸受容史 (2)	
日本文学史D (2) 【2019年度以前入学者】	日本史概論A (2)	東アジア近現代史A (2)	
日本文学史 (2) 【2020年度以降入学者】	日本史概論B (2)	東アジア近現代史B (2)	
日本演劇史 I A (2)	日本文化史A (2)		
日本演劇史 I B (2)	日本文化史B (2)		
日本演劇史 II A (2)			
日本演劇史 II B (2)			
日本語史 (2) <必修>			

# 言語と社会（2単位以上）

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
<p>コミュニティ心理学（2）【2017年度以前入学者】 社会心理学（2）【2017年度以前入学者】 社会・集団・家族心理学Ⅰ（2）【2018年度以降入学者】 社会・集団・家族心理学Ⅱ（2）【2018年度以降入学者】</p>		<p>社会言語学（2） ジェンダー論（2） 社会的共生論（2）</p>	

# 言語一般（10単位以上）

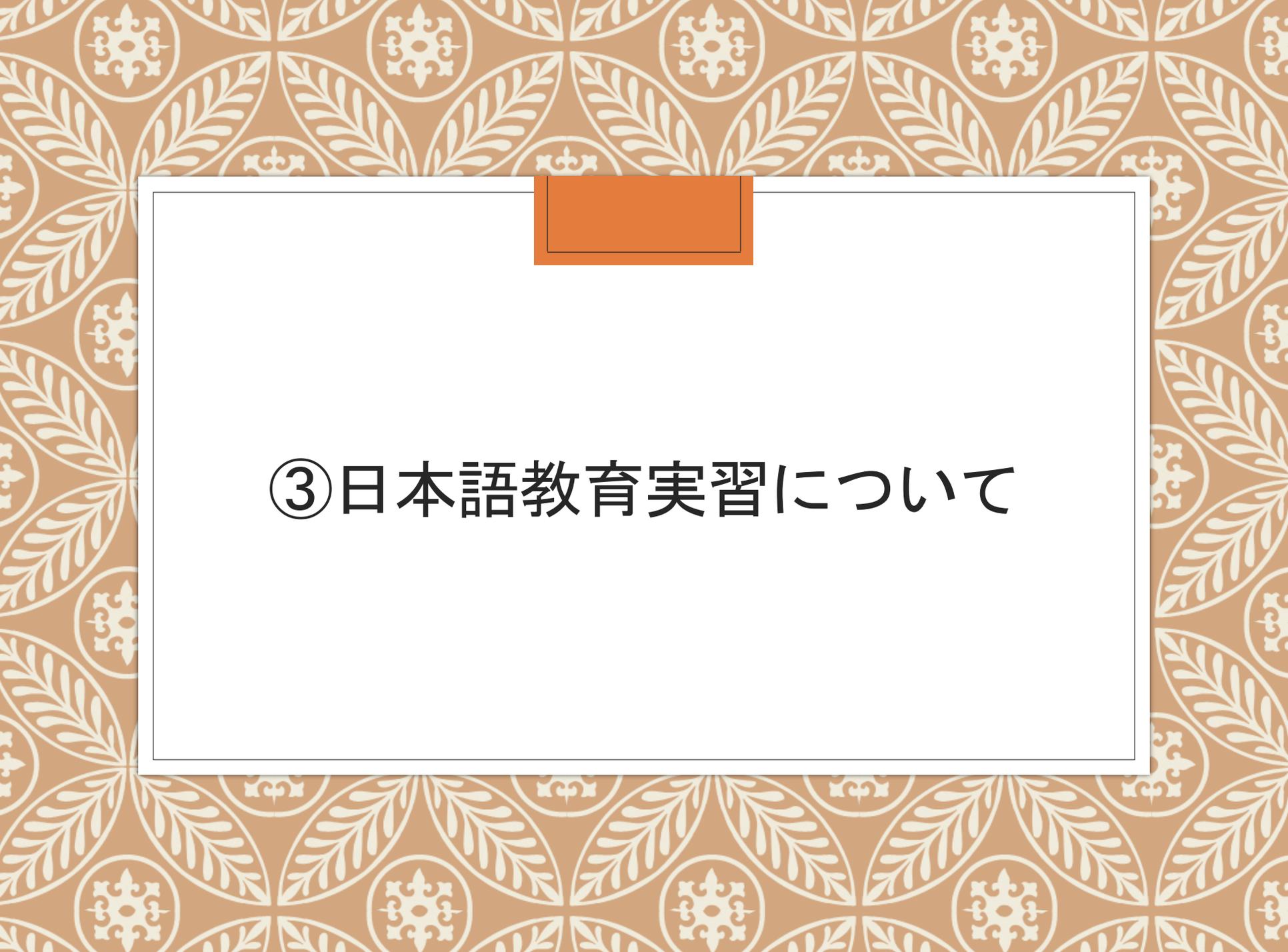
1年次	2年次	3年次	4年次	
	国語学ⅠA (2) 国語学ⅠB (2)	国語学ⅡA (2) 国語学ⅡB (2)		この中から 4単位以上
	国語学各説ⅠA (2) 国語学各説ⅠB (2) 言語学A (2) 言語学B (2)	国語学各説ⅡA (2) 国語学各説ⅡB (2) 音韻・形態論A (2) 音韻・形態論B (2)		この中から 4単位以上
	音声学A (2) 音声学B (2)			
	日本語音声学 (2) <必修>			2単位 (必修)

# 言語と教育（9単位以上）

1年次	2年次	3年次	4年次	
		日本語教授法Ⅰ（2）＜必修＞  日本語教授法Ⅱ（2）＜必修＞  日本語教育学演習A（2）＜必修＞  日本語教育学演習B（2）＜必修＞		8単位
		日本語教育実習Ⅰ（1）＜※必修＞  日本語教育実習Ⅱ（2）＜※必修＞		※この中から 1単位以上

# 言語と心理（2単位以上）

1年次	2年次	3年次	4年次
	学習心理学（2）【2017年度以前入学者】 認知心理学（2）【2017年度以前入学者】 発達心理学（2）		心理言語学（2）
	学習・言語心理学（2）【2018年度以降入学者】 知覚・認知心理学（2）【2018年度以降入学者】		



## ③日本語教育実習について

# 日本語教育実習Ⅰ・Ⅱの履修条件

日本語教育実習Ⅰ・Ⅱの履修を希望する場合…

「日本語教授法Ⅰ・Ⅱ」および「日本語教育学演習A・B」

の科目を履修中または修得済であること

が条件となります。

# 日本語教育実習 I (春学期)

通常の授業に加えて、他大学の留学生日本語教育センターや学外の日本語学校・日本語教員養成機関で10～15時間程度の実習をおこないます。

具体的な内容は以下のとおりです。

- 授業見学（初級・中級・上級）
- 日本語学習者との会話実践
- 振り返り・実習報告会

2023年度は秋学期も開講します。

# 日本語教育実習Ⅱ（秋学期）

通常の授業に加えて、学外の日本語学校・日本語教員養成機関で20時間程度の実習をおこないます。

具体的な内容は以下のとおりです。

- 日本語学校授業見学
- 教案作成方法を学ぶ・教案大枠作成
- 実践練習・模擬授業
- 教壇実習
- 実習の振り返り・実習報告会

【注意】参加にあたり、実習費用が発生します。

# 日本語教育実習Ⅱ（秋学期集中）

海外の大学（香港または台湾を予定）で1週間程度の実習を行います。

具体的な内容は以下のとおりです。

- 教壇実習
- 実習の振り返り・実習報告会

※履修にあたり、集中の科目のため年次履修制限上限単位に含みません。

4年生の履修可否については、別途履修登録時にご案内する資料を確認してください。

**【注意】** 参加にあたり、旅費・宿泊費等の費用が発生します。